

右京区役所 ☎861-1101 (代表)
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/
**区役所ホームページ、Facebook
常時更新中!**
**「区長の部屋」も
ぜひのぞいてみてね!**



右京区役所 検索



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎ 661-3755、FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから)
パソコン http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/
page/0000012821.html
携帯電話 http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/



12月16日、サンサ右京に木質ペレットストーブを設置し、環境教室が開催され、約350名が参加しました。

私たちの生活に切っても切り離せないごみ。暮らしに身近なごみ問題を見つめ直し、ごみ出しマナーやごみ減量に取り組みきっかけとして、ごみ処理施設の見学会を開催します。

日時 3月15日(金)午後1時～4時
集合場所 サンサ右京(右京区役所南側)
対象 右京区在住または通勤・通学されている方(小学

エコまちステーションが行く!
右京区民、ごみ減量エコバスツアーの参加者募集。ごみの行方を探検しよう!

要申込み・参加費無料

生以下は保護者同伴
定員 30名(先着順)

見学先 北部クリーンセンター、北部資源リサイクルセンター

申込方法 京都いつでもコール(4面上段参照)で1月21日(月)～2月17日(日)まで受付

お問合せ

右京エコまちステーション
☎366・0190



アート活動をみんなで
行っています



西院での朝市出店の様子

「平成24年度新・右京区まちづくり支援制度」支援事業活動中
障がいのある子どもたちへの家庭支援(京都光華女子大学 光華子ども遊び隊)
この事業は、社会福祉、心理、保育を学ぶ学生が障がいをもつ子どもたちと遊び、調理、食事などを共にすることで、子どもたちの人間関係を構築することが目的です。また、学生自身が進路を考えるきっかけにもなっています。

これまで、「フォーラム」こぼえに学生が2回訪問。山ノ内小学校などで開催される障がいのある子どもたちの放課後地域活動「わくわくクラブ」にも参加する予定です。授業との両立が難しいですが、障がいをもつ子どもたちのネットワークづくりや学生自身の学びの場が広がっていくことを期待しています。

大学連携でつくる右京野菜にぎわい市(右京ベジトラック)
右京区で生産された農産物を、区内で開催する野菜にぎわい市で販売する地産地消プロジェクトを実施しています。農作業のお手伝いや、野菜市を通じた区単位の地産地消と若者がまちづくりに関わりやすい環境づくり・人材育成を目的に活動中です。

6月からは、獣害で困っている高齢の方の畑で電気柵を立てを行うなど、2回程度の頻度で援農も実施。11月には西院デイスターで右京度100%の野菜市を開催しました。今後、「近所の一級品を、食べる」時代づくりを推進する右京ベジトラックにご期待。



「第7回京北・納豆フォーラム」が開催されます

立命館大学産業社会学部と、NPO法人フロンティア協会は、「京北プロジェクト」と銘打ち、地域振興活動と大学教育のコラボによる活動に取り組んでいます。プロジェクトでは平成21年度、22年度の2年間、右京区まちづくり支援制度の助成金を得て活動を進め、23年10月には、老舗納豆メーカーと連携し、「京北」の市販を開始。「藁」と納豆本

少するという危機に直面しています。せっかく植えた苗木も増加の一途をたどる鹿に食べられていきます。また、戦後の人工林の急増も嵐山の危機に大きく影響しています。

このような嵐山の過去・現在・未来を伝えてもらった生徒たちは「外から見るとキレイな山でも、中は荒れていることを知った」「治山事業や鹿対策などたくさん工夫で山が守られていることを初めて知った。僕たちも守っていきたい」と話しました。



嵐山の植生について学識者から学ぶ生徒たち

以前は、人々の生活に欠かせない燃料を得るために下刈や薪を伐ることが多くあり、嵐山はその供給源としての役割を果たすことで適正に管理されてきました。しかし、近年供給源としての必要性がなくなったことで、嵐山にも雑木が茂り、サクラや紅葉が減

「第7回京北・納豆フォーラム」が開催されます
邦発祥地とされる京北の地域資産とし、地域のPRと振興につなげようとしています。

フォーラムでは、これまでの取り組みを振り返り、都市近郊に位置する中山間地域という京北の地理的特性や産業のあり方にも触れ、今後の活動の課題や方向性について意見交換します。

日時 2月10日(日)午後1時～3時30分(12時30分開場)

会場 右京区役所5階大会議室

申し込み 不要

お問合せ 立命館大学産業社会学部事務室 ☎465・8184 (担当:辻)

仕事を引退後、ライフワークとして地域活動に奮闘!
山ノ内学区瀬戸畑町内会

西村町内会長は、仕事を退職してから地域の人と出会う機会が増えるようになり、人と関わることを楽しさを実感。今年初めて、15世帯が加入する町内会長に就任。町内会活動についてお話を伺いました。

■どんな町内会活動をしていますか

例えば、6月頃にレクリエーションをしています。今年は、子どもからお年寄りのまでが近場で遊びました。「いつも一人だけ、今日はおしゃべりしながら食べられたから嬉しかった」という一人暮らしの方の声も。

次へのつながりを作ることも町内会長の大切な役割ではないかと思っています。11月の行事では、次の世代にも頑張ってもらいたいという思いから、今年度は、若い人たちに料理を担当してもらいました。忙しい中でしたが、協力しながらやってくれました。「今度役を持ったらお互いカバーし合おうね」という話もあり、「私の思いが通じた」と嬉しく思っています。

その他、月1回の古紙回収と、毎晩夜回り活動をしています。夜回りの活動は、2、3軒が1班となりの毎日順番に回しています。大変だけど、普段接する機会が少ない方も色んなお話を

「組織」として力と知恵を出し合って自治会を運営していくことも重要。私一人では何もできません。役員の方や、組長、地域の方々の支えがあったからこそ、地域での付き合いが自治会を作っていくと思えます。

■どんな自治会にしていきたいですか

私自身、会長になって声を掛けられる機会が増えただけです。役員の方や組長が「大変やったけど、楽しかったな」と思える1年にしていきたいですね。以前、「ちょっと胸が苦しい、助けて」という訴えがあり、近所の人が救急車を呼ぶことがありました。私自身も、たくさんの人に支えてもらう中で、常に人とのつながりの大切さを実感しています。人と人とのつながりが、住み心地の良い安心・安全のまちづくりを生み出すのではないのでしょうか。そのつながりがずっと続くようにしたいです。

「発見!」自治会・町内会
ス・テ・キ⑥

をしながら歩くので、町内のことを知る良い機会になっていると思えます。

■大切にしていることはなんですか

一番大切なのは、町内に「人と人がつながれる、人が集える機会をつくることだ」と思っています。一歩踏み出すためには顔見知りの存在が必要なので、役員が中心となり積極的に声掛けをしています。



瀬戸畑町内会
西村佐紀子会長